

# 高齢者等の入所施設における感染対策の確認ポイント

## 医療体制

- 入所者の既往歴や治療薬、普段の健康状態（酸素飽和度を含む）を把握・整理する（酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）の測定方法は下記を参照）
- 平時より、陽性者が発生した際に訪問診療や薬の処方、酸素投与の指示等がどこまで可能か担当医（注1）に確認する
- 休日、夜間、長期休暇の際に担当医と連絡できる手段を確認し職員間で共有する
- 看護師の体制を確認し、必要に応じて業務支援をお願い出来るように、近隣の訪問看護ステーション等と連携する



パルスオキシメーターみんなの安心手引き（引用元：JEITA）

※（注1）配置医、嘱託医、協力医、入所者のかかりつけ医

## 人員配置・応援体制（BCP:業務継続計画の整備）

- 法人内、施設内での人員不足時の応援体制について具体的に話し合う
- 人員不足時、職員の負担を軽減するために業務内容の整理する（ただし、誤えん防止（口腔ケア）の介護は可能な限り省略しない）
- 上記事項は、各職場で作成する「BCP:業務継続計画」に定め、職員間で情報共有する

## 物品管理

- 物品（下記例を参照）の確認（残量や動作確認、使用期限等）
  - 個人防護具の着脱手順を正しく理解し、着脱方法の練習を行う
  - 消毒液の適切な濃度を確認し、作成方法を施設全体で共有する
- ※消毒効果がなくなるため、作り置きをしない

定期的にチェックし全員で共有

<必要物品>（例）

個人防護具（PPE）：ガウン、マスク、ゴム手袋、フェイスシールド、N95マスク

健康観察：体温計、パルスオキシメーター

消毒（環境消毒）：アルコール消毒液、次亜塩素酸ナトリウム水溶液 等



## 本人と家族への確認

- 家族の連絡先を定期的に確認する
- 陽性者が発生した際は、
- 家族等へ状況を報告する
  - 事前に担当医等と確認した入院時の医療への希望について再確認する